

大菩薩峠 完結篇 (1961)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1961/05/17

【解説】

中里介山による未完の同名長編時代劇を、市川雷蔵主演で映画化した大映版シリーズ三部作の完結篇。前二作と同じく衣笠貞之助が脚本を執筆し「おけさ唄えば」で雷蔵と組んだばかりの森一生が監督を担当した。「音無しの構え」で殺気みなぎる机龍之介の最後を描く。

竜神の滝から落ちた盲目の机龍之介はお豊に助けられ、伊勢大湊の材木屋で体を休めていた。そこで龍之介は、お豊が病魔に冒され自ら命を絶ったことを知らされる。旗本の神尾主膳に捕らわれた龍之介は、甲府勤番駒井能登守の暗殺を命じらるが、夜な夜な里に出て辻斬りを行うようになっていた。辻斬りの噂を聞いた兵馬は大菩薩峠に戻り、ついに二人は対峙するのだったが…。

【クレジット】

監督 森一生

製作 永田雅一 [製作]

企画 久保寺生郎

南里金春

原作 中里介山

脚本 衣笠貞之助

撮影 本多省三

美術 西岡善信

音楽 塚原哲夫

出演 市川雷蔵

中村玉緒

本郷功次郎

小林勝彦

近藤美恵子

三田村元

丹羽又三郎

見明凡太郎

阿井美千子

矢島ひろ子